

ふりがな	うぶぶ
団体名	UBUBU

「UBUBU」が行っている「子どもの居場所づくり事業」が魅力的である。

最大の魅力は、この団体が行っている「子どもの居場所づくり事業 (morimorin)」である。

「morimorin (モリモリン)」の活動は、単なる子どもの居場所づくりではない。

高校生からシニア、そして外国人まで。世代や国を超えた支援者が集まる。多世代多国籍交流の場として、地域にとってなくてはならない活動となっている。

活動内容等

	(1) 事業の目的及び活動の方向性	町の中で孤立しやすい子育て中の女性や子ども達が、手仕事や食育を通して自己実現を図ることを目的として設立された団体。 現在は、子育て世代の課題解決のため、「子どもの居場所づくり事業」に取り組んでいる。 今後は、活動拠点の設備を整え、「学びの場」としての機能を強化する方針。
活 動 体 制	(2) 地域住民が主体となって活動している様子	運営メンバーは、地域の子育て世代で構成されている。 地域住民は、ボランティアとして運営補助やワークショップの講師として活動に関わっている。 ワークショップは、地域の教育機関と連携して学校で行うこともある。
	(3) 連携団体等	民間企業（長坂養蜂場等）、地域活動団体（三ヶ日まちづくり協議会等）
	(4) 活動年数	6年目（2020年4月設立）
	(5) 参加状況	令和6年度実績 参加延べ人数 約1,200名（各回15名×80回） 地域ボランティア 約60名 （学生　約20名） 外国人ボランティア 約45名
	(6) 活動内容及び成果	多世代多国籍交流を特色とした「子どもの居場所づくり事業」を実施している。 多世代多国籍交流を特色とし、幅広い世代の地域ボランティアや海外からのボランティアを受け入れている。 活動の成果として、参加している子どもの変化や地域の変化が見られている。
	(7) その他特記事項	この春から「morimorin」は実行委員会化を進めている。